

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回天白警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月22日（木） 午後3時から午後5時10分までの間 ----- 天白警察署講堂
出 席 者	<p>1 委員 鳥原 久資 委員 櫻井 真弥 委員 横地 良和 委員 連 史之 委員 佐野 聖子 委員 樋口 義博 委員 小嶋 理江 委員 森野 栄健 委員 木全 重之 委員 中根 かおり 委員</p> <p style="text-align: right;">以上10名（定数10名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員 杉原署長 児玉副署長 山本警務課長 村上会計課長 永井口生活安全課長 和田地域課長 伊藤刑事課長 雪下交通課長 松山警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	優秀な人材の確保
答 申 等 の 概 要	<p>1 充実した福利厚生や研修によって成長を実感する若い警察官の声を動画やSNS、説明会などで広報する等、警察へのイメージ向上</p> <p>2 警察署の解放や体験型職場説明会を増やし、警察の仕事を身近に感じてもらう取組の実施</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月中旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	令和6年中の会長及び副会長の選出
	委員の互選により、鳥原委員を会長に選任し、会長は横地委員を副会長に指名した。
2	会長挨拶
	天白区内の安心・安全を目指す天白警察署の力になれるよう、委員の皆様方から忌たんのない御意見を願います。
3	署長挨拶他
	(1) 署長挨拶
	(2) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(3) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	効果的な交通事故抑止施策
	(2) 答申事項（交通課長説明）
	ア 若者と連携した広報啓発活動の推進
	イ 取締り効果を発揮するため、赤色灯の常時点灯、駅付近や人通りの多い地区、抜け道での取締り強化及びパトロールの推進
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 大学及び高等学校の協力を得て各学生との連携を強化し、交通安全広報啓発活動方法について検討を実施
	(イ) 大学生と動画情報を利用した広報啓発活動に関し、動画作成方法
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
等について検討した上で広報動画を作成する	
(ウ) 駅周辺において、大学生とともに交通安全広報啓発活動を実施	
(エ) 管内の高校を訪問し、同校生徒会の協力を得て全校生徒にチョコレートを配布し交通安全啓発活動を実施	
イ 答申事項イについて	
(ア) 駅周辺での横断歩行者等妨害違反の取締り強化	
(イ) 駅周辺の裏道で一時不停止違反の取締り強化	
(ウ) パトカーの常時赤色灯点灯による街頭活動の強化	
5 諮問事項説明（警務課長説明）	
(1) 諮問事項	
優秀な人材の確保	
(2) 諮問事項の設定理由（警務課長説明）	
ア 警察における採用活動において年々受験生が減少しており、採用対象者を選定することが困難な状態となっている。	
イ 警察の職務執行は人数をそろえれば良いというものではなく、警察業務を責任をもって遂行できるだけの能力を有する必要がある。	
ウ 昨今の就職活動は公務員離れが進んでおり、更に公務員の中でも警察官は危険を伴う心象があり、より一層受験希望者が減少する傾向にある。	
6 協議	
委員 ・ 優秀な人材の確保は難しい問題である。優秀な人材を確保するためには受験者数を増やすことが必要である。最近では警察以外の公務員の活動などを紹介する番組が放映されており、これまで禁忌とさ	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	れていた映像が娯楽番組のように気軽に放映されていることで、視聴者が他の公務員を身近に感じ興味を引かれているのではないか。
委員	・ 各局で放映される「警察24時」という番組では、逮捕場面が紹介されている。衝撃的な場面ばかりではなく警察官の採用に向けた柔軟な戦略も必要ではないか。
委員	・ 警察官を志す者でも、高い使命感や危険が高い業務であることを理解しているからこそ敬遠されるのではないか。警察業務について理解してもらうためにも職場体験型教室を開催する必要がある。
委員	・ 管内の高等学校や大学との密接な関係を構築することも必要である。
委員	・ 警察署独自でできることではないが、福利厚生だけでなく給与水準の改善も必要ではないか。
委員	・ 最近の就職説明会で就職活動に取り組んでいる学生は、福利厚生や休暇の取得状況を重要視している。民間企業はこれらに着目し、採用活動をするのが当たり前になっている。
	・ 警察も業務説明だけでなく、福利厚生や休暇の取得状況を積極的に発信することが求められる。
委員	・ 警察の福利厚生などについて紹介されているが、採用後の人生設計の基となる給与所得などが紹介されていない。
	・ 民間企業では採用後に、人生の節目となる頃の年齢での給与水準が示されている。警察も同様に示すことが必要ではないか。
委員	・ 最近は警察官と接することが減少していることも、採用者数の伸
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
び悩みの原因ではないか。	
委員	・ いまだに警察は男性社会ではないかと感じている。育児休暇を取得できると紹介されているが、実際に男性警察官がどの程度の育児休暇を取得しているか明らかになっていない。育児休暇の取得状況を公表することも必要である。
委員	・ 警察官の昇任に関して、性別、学歴は関係ないとされている。警察官が魅力的な職業であることを、1人の警察官を手本として動画を作成して紹介したらどうか。
委員	・ 駐在所勤務員のような身近な存在となることが重要であり、地域に密着した活動をすることが求められるのではないか。
委員	・ 大人になるにつれ警察官とのふれ合いが減少することも一因ではないか。
	・ 受験者数の減少は少子化も影響していると思われる。公務員に限らず民間企業も若い力を求めている。優秀な人材の確保となると難しい問題である。
	・ 女性警察官の採用拡大を目指し、活動状況などを手本として積極的に紹介することが必要である。
委員	・ 管内の中学校ではキャリア教育として、各種職業人を招き職業説明を実施している。警察から管内の中学校に働きかけ、キャリア教育に参加することで警察官が身近な存在となるのではないか。
委員	・ 警察官を志す者は自ら採用情報を得ている。警察官以外も志している者に対し、いかにして警察の魅力を紹介するかが重要である。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ パンフレットなどで警察の業務内容を紹介するのも良いが、現職警察官がやりがいや魅力について各種SNSで紹介することで警察官が身近な存在となり、興味を示し警察官という職業を志す者が増加するのではないか。
委員	・ 警察官という職業が夢のある仕事であり、自分自身で夢を追い叶えられる仕事であることを動画で紹介したらどうか。
委員	・ 子供たちの将来の夢を聞くとクラスの約3分の1が警察官になりたいと言う。子供にとって警察官は強くてカッコいいヒーロー的な存在である。
	・ しかし子供たちが年を重ねるにつれ、不思議ではあるが警察官が憧れの存在ではなくなってしまうことが原因ではないか。
委員	・ 大人になり警察官と接するのは交通違反などで検挙されたときなどであり、親が警察官に良い印象をもたず愚痴っている姿を見ることが原因ではないか。いつまでも憧れの存在であり続けることが重要である。
委員	・ 警察官の業務が過酷であるにも関わらず、給与水準が低いことも敬遠される原因ではないか。警察官に限らず給与水準が低ければ魅力は半減すると思う。
委員	・ 警察官の福利厚生について、人生設計を見据えた活動を紹介することも必要。
委員	・ 人材を確保するためには受験対象者だけでなく、受験対象者の親を対象とした広報活動も必要ではないか。
	記録者 警務係長

